

JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童増加対応について 地域住民対象説明会 議事録（要約）	
開催日時	平成25年10月13日（日） 13:00～14:30
場 所	谷津公民館
出席者	[市教育委員会] 市瀬学校教育部参事、教育総務課小野寺課長、島本学校教育部主幹

島本主幹 （JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童増加対応について、資料に基づいて説明）

【質疑応答】

質問者 財政面、予算面について伺う。一般的に小学校を増設するときに幾らぐらいかかるのか、また、これから開発地域の住民がどんどん増えていくと思うが、それに伴った税収の増収、それはどのくらいを見込んでいるのかというのを教えていただきたい。

回答者 平成25年度に谷津小学校を増築した部分で申し上げますと、特別教室を2つ、1階と2階の1棟を建設した中で、大体予算規模としては1億5,000万円である。今回、高学年の分離で25学級規模の併設となるが、試算では20数億円の金額になると見込んでいる。

回答者 税収については、今現在、年収を640万ぐらいで見えており、それでいくと、固定資産税・市民税を含めて、11億円から12億円ぐらいになると見込んでいる。ただ、修正は十分にあり得る。奏の杜2丁目の総戸数721戸の税収についても、来年初めて、市民税を頂戴することから、まだはっきり判っていない。今後はっきりしてくるが、先ほど言ったように11億円から12億円というお答えとさせていただきます。

質問者 それは年間の額か。

回答者 そのとおりである。

なお、私どものほうで大変申しわけなかったのは、今回の説明会の周知について。町会の方をお願いする中で、時間のない中で特段の町会長の方に御説明しない中でお願いしたことは大変申しわけなかったと反省している。

それと、もう1点は、これまでの関係資料等についてのホームページへの掲出、こちらも行っていない状況。このことは、谷津小学校の全体の保護者の説明会を9月21日に実施し、この説明会の議事概要とあわせて掲出するというような形で考えていたが、その議事録の起こしがなかなかうまく予定どおりに進んでいなかったもので、

今現在も上がっていない状態であるが、今後、この資料等について、ホームページへ掲載する予定であることを申し添えさせていただく。

質問者 基本的なことで、1校増設という案がない理由を教えてください。

回答者 新設校ということか。

質問者 いかにも。既存の学校を利用するという御説明だったと認識している。一般的な話であると思うが、その案が全く出てこなかったのはなぜかなと思ったので、教えてください。

回答者 このJR津田沼駅南口の開発というのは、地権者の方々に組合を設立し、地権者皆様の土地を持ち寄った形で基盤整備に取りかかっている。そのため、第一中学校は習志野市の所有地であるが、その他の土地については、所有者であるそれぞれの地権者が土地利用を図っていく展開である。それと併せて、2.2ヘクタールの近隣公園設置が予定されている現状更地のところがある。これは現在市の所有でなる。

そういう中で、1点目として、新設校といったときに、平成16年当時の推計の中から新設校というような展開にはなっていないことから、開発エリアの部分に、学校用地が確保されていないということが一つある。

また、都市計画決定されている近隣公園予定地に学校を建てられないのかという御意見をいただいているが、これらについても、いわゆる都市計画決定上、開発エリアに求められる緑化という部分が必要となっているものであって、そこに上物を建てるということは、現行の法令上なかなか難しい。

そのため今行っているのは、仮に谷津小学校児童数が一定程度増えたときに、近隣公園をグラウンドの代わりとして使うことについて、環境部との協議は進めているが、ここに学校を建てるということは協議していないし、既に土地利用を図る地権者のほうでは、まとまった区画の中で学校用地となり得る部分については、現状の中ではないというようなことから、限られた敷地の中で展開を検討しており、新設校という案についてはないということになっている。

質問者 まず、私は谷津小で御説明いただいたときにも聞き、今のお話の中でも出ていたが、近隣公園への新設校という部分。法的に厳しいというお話があったが、そこら辺をもう少し詳しく説明いただきたい。この前の説明会でもあったとおり、市で持っている土地であれば、補助金とか、そういったところの絡みでもなかなか厳しいといった現実的なところはあるかもしれないけれども、そこは冒頭、行政として、そこに問題があったと言われているわけで、そうすると行政として、困難な部分にでも立ち向かっ

ていくという姿勢が見えないと、単純に法的に無理であるとか、お金の関係でなかなか国や県には言えないとか、そういった話だけだと、皆さんの御苦勞が十分には伝わらないと思う。

そこら辺ちゃんとやらなかったら、「何だお役所仕事は」というふうに思われるし、例えば5・6年分離というふうな話にまとまったら、結局行政は自分の不手際に対して責任をとらないで、住民にそこを押しつけたと。みんなでそこら辺の痛みを分かち合おうというのは、いかにも日本人らしいというか、提案にはなるかと思うが、そこは筋が違うかなというところもあって、理解が得られないので、本当に行政としてどうしようもないというのだとしたら、そこをもう少し丁寧に説明いただかないと理解できない。その部分の御説明を今後いろんな説明会の中で入れていただきたい。

もし万が一どうしたってこれは無理だねというのがあったとして、近隣公園を谷津小の運動場として一時的に使うという可能性について、その場合であれば、校舎と運動場が少し離れてしまうが、そうすれば上物が建つわけじゃないのかなという気もするし、例えば、谷津小の運動場にプレハブ的なものを建てて、そこに教室を増設すれば、今後、何年、何十年かして、人口が減って、子供の数が減ったときに、そこをまた撤去して、運動場に戻せるということもできるであろうし、その際には近隣公園の運動場もまた公園として活用できるということもあると思うので、これも一つ有力な案として、ぜひ入れていただけないかなと考えている。

あと、今日のこの説明会の場は、冒頭で、以前いろいろ各所でお話にあった、その内容の周知ということにはわかったが、その中に今までの谷津小で上がった話とか、PTAの役員さんに話して上がった話とか、そこら辺がなぜ盛り込まれていないのか。お忙しいかもしれないが、それは資料の中にどんどん盛り込んでいって、常によりふえた情報を住民に提供すべきなんじゃないのかなというのは感じた。

あと、この後、そこら辺をまとめて、また別途開催されるということで、それはまた同じように各所を回るのか。

回答者 その通りである。

質問者 各対策案に関して評価項目を設定して、それで評価すると。これは非常に大切なことだと思う。客観的にどう評価したというのがわかるから。しかし、結局そこで出た結果に関して、誰かが何かしらの判断を下すのであれば、それって人によって、言ってみればどうにでも、その人の考え方によって結局は左右されてしまう可能性も高いと思うので、そこら辺の客観性というか、妥当性がどう担保されるのかというのが心配である。今後、誰がどのような形で決定するのか、決定権は誰が持つのか。以前、PTAのほうへの説明のときには、教育委員会という話があったが、また別の説明では、学区変更に関する審議会というか、そういったところに付託して決めるとかとい

うお話もあったし、意思決定は誰がどう行われるのかというのが見えなくて、そこも明確にしていきたい。

回答者　まず、1点目の近隣公園の扱いについては、今、関係各所と確認しているところであり、まだ詳細に説明できる形がとれていないということで大変申しわけない。

2点目の谷津小学校としての運動場の可能性ということについて、公園という部分の位置づけの中で運動場といったときに、一つには多目的広場が、公園に位置づけられる中で、時間を決めて、学校が使うという形であれば、対応が可能ではないかと。

時間等も限らずに、カリキュラムに応じて運動場での体育だといって、そこを谷津小の敷地として使用するという事は難しい。時間を決めただ中で、グラウンドの代替として、一時使用することは、可能性としてなくはないので、今、担当部署と協議中である。

それと、さまざま御意見をいただくというような状況の中で、増えた情報、こういったものを開示することについては、今後そういう形で対応させていただく。

また、評価と決定に関して、今回の事案については、通学区域を変更する、しないにかかわらず、通学区域の適正化という部分から、通学区域審議会には諮問する事項であると考えている。そういう中で教育委員会が諮問して、答申を受けて、最終的に教育委員会が決定するという事で御理解いただければと思う。

質問者　今後の取り組みのところで、今年の12月までに対策として一定の方向を出す必要があるということだが、あと数カ月のもとで具体的にどの程度のことを決めるのか、具体的に教えていただきたい。

回答者　12月というのを一つの目途にしているのは、予算編成というところが大きい。

そういう中で谷津小の全体保護者への説明を契機として、その説明後、地域への説明をしている中では、多々電話での御意見というか、そういう心配な声というのを受けていて、どのように展開できるか、なかなか難しいところはある。

ただ、12月の段階で、これまでの説明をしてきた中での御意見やアンケートを受けた状況においては、通学区域を変更するのか、しないのか、こういった一定の方向性を示した中で、再び評価した内容について御意見をいただこうと考えている。

ただ、その段階で通学区域を変更した場合だけでお話をするかということについては、まだ内部で詳細に詰め切れていないので、いずれにしても方向として、例えば通学区域を変更しないで、高学年分離でしたときには、このような工夫、あるいはこのような対応というようなこと、あるいは通学区域を変更した場合には、第何案と第何案ということが評価した結果からは優位であるといったところで、補完的に例えば安全対策としては、このような策を講じていくというような内容の御意見等を賜る

うかというようなことで考えている。ちょっと明確ではなくて申しわけないが、このような状況である。

質問者　今の安全対策という絡みで教えていただきたいのだが、もともとの基本案の対応について、いずれも京成の北側のエリアから向山小に通うものとか、そういう点、今、踏切の事故だとか、非常によく起こり得る、何が起こるかわからないというところがあると思うので、そういったところでの安全対策を講じられた上で、原案だと、幼稚園については例えば一時的に向山へに行くというようなことであるが、その場合の踏切等についての安全性の対策だとか、あるいはそこら辺を案として考えられているけど、どれくらいのウエートで考慮しているのか、そこら辺をお伺いしたい。

回答者　谷津2丁目を抜けて踏切を越えて、向山というようなところについては、確かに歩道整備というところもなく、道路は狭く、また車も通るといような状況の中から、抜本的な、京成線を越える歩道橋であるとか、そういったところはおっしゃるとおり難しいのかなというように考えている。それから、整備するにも、現行のところでもまりというか、そういったスペースがないということから、もしやっただとしても、長期の対応ということになろうと考えられる。

そういう中で、例えば一例として、そこに人が立ったらどうなのかというようなことはあると思う。ただ人が立つだけで親御さんの不安が解消できるのかどうか、こういったことは対策といったところでまた意見を聞く中で変えられていくのかなというように捉えている。

回答者　いずれにしても、どの案もまだ何も決まってははいない。今回お示しした案について、パズルじゃないかというような御指摘もいただいています。それはごもっともな御意見で、ただ今回の児童増加というところを、言葉もちょっと不適切かもしれないが、この学校へ振り分けた場合にはこのようになるというような展開を皆様にお示したほうがいいたろうというようなところからお示しさせていただいている。

もう1点は、JR津田沼駅南口開発、これは大変重要なまちづくりというような観点から考える。そういう中で今、新しいところから引っ越してきている方、また以前から居住している方というような方々がいらっしゃる中で、今回このような事態というところで御説明せざるを得なくなってしまったというところでは本当に申しわけないというように考えている。

いずれにしても、この問題については、まちづくりはまちづくりとしてあって、そこに新しいまちができて人が住むと。その人が住むことによって生じるということではなくて、今回の推計という捉え方が当時と現行で教育委員会としての対応がおくれたというところで御理解いただければと思う。新しい方々が住むことによって生じたと

いうことではない。推計を修正せざるを得なくなったというような対応がそうなってしまったということで捉えていただければと思う。

質問者 今の説明はどういう意味なのか、よくわからなかったのだが、現実問題として、奏の杜という新しいまちをつくったことによって、大量に増えているではないか。

回答者 いかにも。増えているが、その増えた要素を推計上、我々のほうが予見していなかった数になってしまったということに起因しているということである。

質問者 あえてそれをお話しになっているのは、だからどうなんだよという裏にある思いをちょっと聞きたくなってしまうのだが。

回答者 それはいわゆる新しく住んでいただいた方にも、当然にしてよかったと思ってもらいたいということはあるが、新しく住む方と以前からお住まいの谷津の方々というところでも協調して生活していただくということの中でのことを伝えたいということである。どうも奏のまちに来た人のせいでこうなったというような展開も聞くことがあるので、そうではなくてということを経験したかった。

質問者 わかったが、「せいで」という一部の方が思われるのはよくないと思うし、無用な住民対立を引き起こすべきではないと思うが、ただ実際に対応を考えるに当たっては、全員に対して対処するのがまずは最優先に考えられるべき対応方法だと思うので、その人たちのせいではないけども、かといって、先ほども言ったが、みんなで負担、苦しみを分かち合おう、それも一つだと思うが、だからといって、もともとの住民がいろんな負担を強いられて、それがちょっと狭い考え方かもしれないけども、我が子なりの安全とか、環境、そういったところに影響があるということであれば、それは勘弁してよということになるので、そこはちゃんと線を引いて御検討いただきたい。

回答者 御意見として受け止めさせていただく。

～閉会～